



教育力向上福岡県民運動
シンボルマーク

教育力向上福岡県民運動 ワンポイント・リーフレット 第9号

遊び体験

～ 地域中心の取組 ～

平成22年2月



最近では、地域で、友達と夢中になって遊んでいる子どもの姿を見かけることが少なくなってきました。しかし、遊びは子どもの育ちにとって、とても大切なものです。楽しいだけでなく、次のような力を育むことができます。

- 社会性、協調性、思いやり、人間関係能力。
- 自主性、創造性、耐性。
- 生きた知識、生活の知恵。
- 体力、運動能力、器用さ。
- 心の緊張（ストレス）の解消、心の健康。



そして、さらに重要なことは、子どもは遊びの中で様々な課題を解決したり、困難にチャレンジしたり、仲間として受け入れられたりすることで、様々なものに挑戦しようという意欲をもったり、自尊感情を高めたり、規範意識を身につけたりすることができるようになるということです。

今回は、外で元気に遊ぶ子どもにするための親や地域の大人の関わり方のポイントを紹介しましょう。



ポイント1

安全で集いやすい遊び場(居場所)を確保しましょう。

子どもたちが遊びたいなと思っても、遊ぶ場所がなければどうしようもありません。地域の大人の目がよく届く校庭や公園、広場など子どもたちが安心して遊べる場を地域で確保しましょう。まずは、どんな遊び場がほしいか子どもたちの意見を聞いてみるのもいいですね。



ポイント2

できるだけ、外に出るように声をかけましょう。

子どもたちが遊ぼうと思っても時間がなく、友達がいなければ遊べません。最近では、放課後やお休みの日も塾や稽古事で時間がとられたり、友達と遊び約束が取れなかったりして、家の中で一人でゲームをして遊ぶ子どもが増えています。せめて小学校3、4年生頃までは、塾やお稽古ごとをできるだけ控えるようにしたいものです。そして、「〇〇ちゃんをさそってみたら。」「□□ちゃんが公園にいたよ。行ってみたら。」などできるだけ、子どもが外に出るような声をかけましょう。



ポイント3

たまには、一緒に遊び、遊び方を教えましょう。

今の子どもたちは、「遊びなさい。」と言っても遊ぶことができません。遊び方を知らないからです。そこで、子どもたちが友達と楽しく遊ぶようにするには、遊びの得意な大人が子どもの中に入り、プレイリーダーとなって、遊び方を教えることも時には必要です。自分たちがした遊びを子どもたちと一緒に楽しんではいかがですか。但し、子どもが自分たちで遊ぶようになったら大人はそっと引きましょう。





ポイント4

「ああしなさい。」や「こうしなさい。」は慎みましょう。

子どもたちは、遊びたいから遊びます。大人から見てどんなに些細な遊びでも、その中で子どもたちは想像力を膨らませ楽しんでいきます。大人が「ああしなさい。こうしなさい。」と言うと、それは、子どもたちの主体的な遊びではなくなってしまいます。特に危険なことではない限り、子どもたちの自発性や自由さを大切にしながら、「楽しそうね。」「面白そうね。」と声をかけ、見守りましょう。



ポイント5

親自身も近所の人と積極的に交流するようにしましょう。

今は、隣近所の人間関係がとても希薄になっています。そんな大人の状態でも子どもだけ友達になりなさいと言ってもそれは無理です。特に幼い子では親同士の交流がきっかけとなって、子ども同士のつながりができることが少なくありません。日ごろから隣近所の人間関係を豊かにするようにしましょう。また、地域での行事には、様々な年齢の人が集まります。これらに参加することで、同年代だけでなく小さい子から大人まで、様々な年代の人々と触れ合うことができます。子どもたちにとっては、遊びの仲間が増えたり、遊び方を知ったりすることにつながります。

☆こんな遊び場があります

アンビシャス広場

アンビシャス広場は、地域の大人たちが見守る子どもたちの居場所です。放課後や休日、アンビシャス広場に行くと、いろいろな年齢の友達や地域の大人がいて、一緒に遊んだり、話をしたり、学習をしたり、いろいろな体験をしたり、さまざまなふれあいをすることができます。



国分アンビシャス広場（太宰府市）
広場の方から：「イベントをしなくても子どもが集まります。子どもたちが勝手に遊びますが、一番多いのは、幼稚園の子から6年生まで一緒に遊ぶけんかゴマです。どうしたら勝てるか工夫する中で自立心が育つようです。」



1日プレーパーク

プレーパークは、子どもが自ら遊びをつくる遊び場です。子どもがのびのびと思いつき遊べるよう禁止事項をなくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切にしながらそこにあるものを使って自分のしたいことを実現していく遊び場です。土、水、木、火、廃材などから遊びが生まれます。



頤田公民館（飯塚市）
公民館の方から：「月に2回ほどプレーパークをやっています。イベント的にならないよう子どもの遊び心を大切にしています。プレイリーダー（子どもの遊びを引き出す大人）の関わりも大切です。」

福岡県教育庁教育企画部企画調整課 教育力向上対策室 TEL 092-643-3882
教育力向上福岡県民運動ホームページ <http://www.fukuoka-kenminundou.jp>

※ このリーフレットは、上記ホームページからダウンロードできます。そのまま（縮小可）印刷して配布、学校・学年通信に一部抜粋・引用して配布、学級懇談会等資料として配布するなどして有効に活用してください。